

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年5月27日

1 事業名	健診推進事業	コード	42101
-------	--------	-----	-------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 健康推進課	作成者 森下 知佳
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政 策	保健・医療の充実	施 策	予防対策の推進
		予算科目	健診推進事業費	業務委託	全部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	健康増進法、がん対策基本法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	各種健診（後期高齢者健診、成人歯科健診、緑内障検診等）を実施する。 各種がん検診（胃がん、大腸がん、肺がん（結核）、乳がん（視触診・マンモグラフィ）、子宮がん）を実施する。		
目的	対象者	市民	
	意 図	疾病の早期発見と早期治療並びに疾病の予防を図れるようにする。	

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>・胃・大腸・肺のがん検診及び胃のリスク度をはかるABC検診を市立岡谷病院に委託し同一会場で実施した。また、肺CT、子宮、乳がん検診を長野県健康づくり事業団に委託し、保健センター、支所、各区公会所、市内医療機関（子宮がん）で実施した。（受診者数 胃がん1,322人、大腸がん2,112人、肺がん1,509人、肺CT413人、乳がん1,665人、子宮がん1,150人、ABC検診740人）</p> <p>・基本健診を長野県健康づくり事業団に委託して、受診機会の少ない35～39歳の市民を対象に保健センターで実施した（受診者数32人）。</p> <p>・後期高齢者健診を岡谷市医師会に委託し、市内医療機関で実施した（受診者数591人）。また、後期高齢者人間ドックを市内4医療機関に委託し、また、それ以外の医療機関で受診した者に補助し、健康増進を図った（委託 日帰り25人、1泊2日9人、補助 日帰り16人、1泊2日4人）。</p> <p>・成人歯科健診を岡谷下諏訪歯科医師会に委託し、下諏訪町と相互乗り入れて市町内の歯科診療所で実施した（受診者数211人）。平成23年度から20歳の歯科検診を開始した（受診者数53人）。</p> <p>・緑内障検診を岡谷市医師会に委託して、市内医療機関で実施した（受診者数882人）。</p>		
前年度の課題への対応	胃・大腸・肺がん検診及び胃のリスク度をはかるABC検診をセット検診として同一会場で実施した。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 活動指標（指標名）	年間総受診者数			単位 人
実績値		9,941	10,734	
*指標の説明	平成24年度評価から、がん検診、健康診査等を健診推進事業として統合し評価する。			
② 成果指標（指標名）	がん検診の要精険者の受診率			単位 %
目標値		100	100	100
実績値		82	90	
達成度	#DIV/0!	82.3%	90.3%	
*指標の説明	健診後のフォロー体制の見直しによる受診率向上			
*目標値の設定方法の説明	岡谷市健康増進計画の目標値			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	0	48,797,893	54,039,128	57,824,000
経常経費		47,026,618	46,748,426	53,775,000
臨時的経費		1,771,275	7,290,702	4,049,000
* 臨時的経費の説明	女性特有がん検診推進事業分			

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	0	4,640,000	4,640,000	4,640,000
正規職員の人数(人)		0.58	0.58	0.58
③ 合計コスト(①+②)	0	53,437,893	58,679,128	62,464,000
前年度比		#DIV/0!	109.8%	106.5%
財源内訳				
一般財源	0	41,465,893	47,756,784	49,041,000
特定財源		11,972,000	10,922,344	13,423,000
* 特定財源の説明	国庫補助金、県補助金、検診徴収金、広告料収入、後期高齢者広域連合補助金			
④ 活動一単位あたりコスト	#DIV/0!	5,197	4,787	
前年度比		#DIV/0!	92.1%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
人間ドック補助金	件数		12	20	16
	金額		240,000	360,000	330,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	240,000	360,000	330,000
	割合	#DIV/0!	0.49%	0.67%	0.57%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	109.7%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。		0
成果指標の目標値 達成度		90.3%

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 死因の1/3を占める“がん”の早期発見、早期治療を行うため、受診率の向上を図る。また、歯科健診の受診率が低いこと、年齢が若くなるほど受診率が低下することから、受診率の向上を図る必要がある。	
	改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 受診率向上のため、市民への周知、啓発に努めるとともに、より受診しやすい健診体制の研究を行う。また、若い年代の人に歯科受診のきっかけを提供するとともに、口腔衛生の重要性の周知、啓発に努める。
改善開始時期		平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---